

Kaijin

【かいじん】

海仁

海のように広く深い思いやり、慈しみの心



医療法人社団 海仁

海谷眼科

かけ川海谷眼科

みどり台海谷眼科

2019.4.1

Vol.97

特集 海仁座談会

～女性が支える患者様主体の医療～

かけ川海谷眼科 移転開院のご案内

海仁グループトピックス

ウェットラボご報告

新任医師紹介

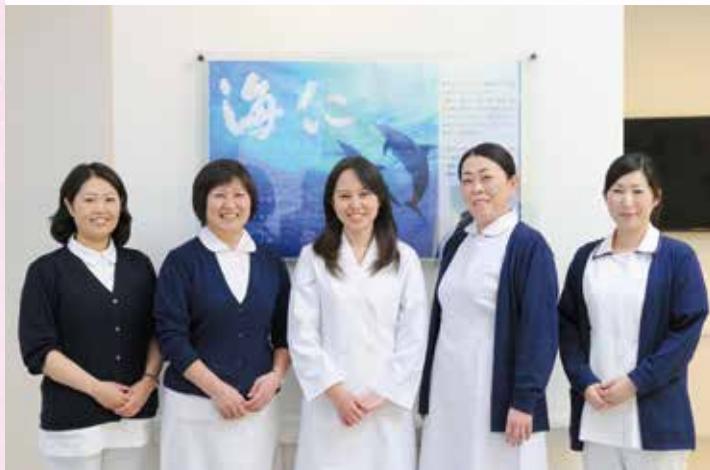


海仁 座談会

女性の
ホンネ

女性が支える 「患者様主体」の医療

創設以来、「患者様主体の医療」を実践してきた海仁グループ。それを支えてきたのは、医療現場で活躍する女性職員たちです。患者様に対して、よりきめ細やかな医療をご提供するために、これまでどのような取り組みがなされてきたのか。そして、これからどのようなビジョンで患者様主体の医療を発展させていくのか。第一線で活躍するリーダーたちが語り合いました。



眼の資料館 海仁ギャラリーにて

皆さんは各職場のリーダーとして「患者様主体の医療」をどのように把握されていますか？

大塚 私が考える「患者様主体の医療」とは、患者様に寄りそう「おもてなしの心」です。実際に各部署でそのような指導が徹底されているので、職員全員におもてなしの心が定着し、患者様主体の医療を実践できていると思います。

佐藤 看護師の具体的な役割として考える「患者様主体の医療」とは、先生が打ち出した治療方針を患者様がどう捉え、どんな治療を真に望んでいるのかを正確にキャッチすることだと思います。そのため私たちがすべきなのは、常に患者様に寄りそって、先生には言いにくいことや生活上で困っていることなどを聞き出し、本来の望みを汲みとつてあげることではないでしょうか。

大村 そうですね。私も同じ考えです。診察に立ち合う際に患者様の表情を観察するのはもちろんですが、診察室を出た後も患者様の様子を観察することが大事だと思っています。治療後の表情を見て「おや?」と感じたら声をかける。それって、自分の子どもへの接し方と似ていますよね。母性に近い行動なのかもしれません。

大澤 お二人がおっしゃるように、患者様が、医師に言いにくいことはあると思いますし、限られた診察時間の中ですべてを聞き出すのは難しいので、やはり診察後に看護師さんに詳しく聞いてもらう必要があります。その内容によっては、治療の方針を変更することもあるので、そういう面でも看護師さんにすごく助けられています。医療は「チーム」で行うものなので、医師一人ではできませんし、皆が同じ方向を向いていないと患者様主体の医療は実現できません。

大塚 海仁グループでは、先生方の努力によって最先端の医療を提供しているので、患者様はもちろんそれを目的に来院されるわけですが、患者様主体の医療を実現するには、医療技術だけでなく、おもてなしの面でもご満足いただくことが大事だと思います。そのためには、受付から会計に至る流れの中で、職員全員が患者様に同じ想いで接し、「また来たい」と思っていただけるように努めなければなりませんね。



大澤先生は、父親である海谷理事長に、以前から「患者様主体の医療」について教えを受けてこられたのですか？

大澤 いいえ。父はどちらかというと口で言うよりも「見て学べ」というタイプなので、直接言わされたことはないですね。でも、私が学生の頃、父があまりにも夜遅くまで手術をするので、その理由を母にたずねると、「一人でも多くの患者様の眼を、一日でも早く見えるようにしてあげたいという想いがあるから」と答えてくれたことがあって、自分の時間を削ってまでも患者様に尽くすという姿勢はすごいなと学生ながらに感動した覚えがあります。私も父親に倣って自分ができ得る限りのことをしたいと思う一方で、子育てもちゃんとやらなければいけないので、両方を完璧にこなせないことへの葛藤があります。母親は、他にかわりのいない仕事なので、それを犠牲にして全てを仕事に集中するのは難しいですよね。だからこそ子育て中の女性が少しでも働きやすい環境をつくるってあげることが大切だと思います。



女性の力を発揮して患者様主体の医療を実践

皆さんは現在の職場に

どんな魅力を感じていますか？

佐藤 看護師になったとき、正直言って眼科は嫌でした。内科とか外科とか、もうちょっと大きな科に入りましたかたんです。でも、実際に働き始めてから考え方かが変わりました。なぜなら、眼科には他の科とは違う特徴があると気づいたからです。たとえば、内科に通って血圧が下がったからといって、患者様が「ありがとう」と口にすることはあまりないですよね。でも、眼科は「眼が見えるようになる」という直接的な治療効果があるので、患者様から感謝の言葉をいただける機会が多いんです。だからこそ患者様との距離も縮まり、より患者様に寄りそった看護ができるのだと思います。また、眼科は整形外科のように患者様を抱えるといった体力的負担も少ないので、女性が働きやすい職場だと思いますね。

大村 私がこうして毎日楽しく仕事を続けられるのは、きっと海谷先生が好きだからだと思います。いろいろ怒られるのですが、結局あの笑顔にやられてしまうというか(笑)。なによりも、先生が患者様主体の医療を先頭を切って実践されていることに、看護師として大きな魅力を感じています。

大塚 私ももちろん海谷先生の人間性は素晴らしいと思いますし、医療姿勢や先端の医療技術などすべての面で尊敬できますよね。

佐藤 そうですね、結局皆さん先生に惚れているんですよね(笑)。

杉山 海谷先生は患者様にいち早く手術をしてさしあげたいという想いが強いので、急な手術が入って大変な面もありますが、「先生がこんなに頑張っているのだから私たちも頑張ろう!」という気持ちに自然とさせられます。結局、好きっていうことですね(笑)。

大塚 こうして先生のもとに心を一つにして患者様主体の医療に取り組んでいる職員を、しっかりとフォローしていくのが私たちリーダーの役目だと思います。たとえば、「今日は緊急の手術が遅くまでかかってから明日はちょっと遅く出てきて」と声をかけるなど、体力面・精神面を思いやって仕事を調整してあげることで、本人のやりがいを持続させられるの

ではないでしょうか。時短制度や保育園など、女性が働きやすい環境づくりについては海谷眼科職員が在籍するメディカルアイカイがどんどん取り組んでくれているので、私たちは職員の皆さん的精神面をしっかりとフォローして、女性が長く働き続けられる環境を築いていきたいと思います。

大澤 医療は、基本的に人と人との信頼関係が一番大切だと思います。当院は女性の多い職場なので、今後も女性ならではの心遣いを活かした医療を提供していくことが、患者様の信頼につながると思います。子育てや介護などの経験のある女性も多いので、そういう面で不安を抱えた患者様を思いやることができるものも大きな長所です。当院がより良い治療を提供していくには、こうした女性の力がとても重要なので、これからも互いにその力を存分に発揮して、患者様主体の医療を高めていきましょう。

「いつもありがとうございます」
「顔を見るだけで安心するのよ」の声に支えられて。



かけ川海谷眼科 移転開院

昨年6月15日、かけ川海谷眼科は開院30周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援の賜物と、厚く御礼を申し上げます。

30周年の節目を迎え、患者様がより安全に、より安心して質の高い眼科医療を享受できる環境を整えるべく、昨年より新しい診療所の建築を進め、本年1月4日に移転開院いたしました。今後は地域の眼科との連携をより深めるだけでなく、日本人の中途失明原因の第2位である糖尿病網膜症の早期発見・治療に力をいれるべく、内科との連携を深めて参ります。

また、中東遠地区のみならず静岡県中部とそれをとりまく山間部も網羅して地域の眼科診療に貢献し、これまで以上に「患者様のQOV(視力の質)を高め、QOL(生活の質)の向上に貢献する」ことをお約束いたします。皆様の総合眼科診療所として、さらなる発展を目指してまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



かけ川海谷眼科

〒436-0051 静岡県掛川市中宿27
電話:0537-23-1660 / FAX:0537-23-3682

予約専用:0537-23-1669

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30 (受付7:30~11:30)	●	●		●		●
8:00~12:30 (受付7:00~11:30)			●		●	
14:00~18:00 (受付13:00~17:30)	●	●	●	●	●	

休診日／土曜日午後、日曜日・祝日、夏季・年末年始



ウェットラボ職員研修のご報告

ウェットラボとは？

医療分野において、動物の眼などの器官を用いて手術手技の練習を行うこと。

2019.1.12(土)

東京・虎ノ門ヒルズ森タワー内

アルコンエクスペリエンスセンターにて

11名参加(手術室・看護・検査・医事スタッフ)



今回、医師免許を持たない職員が「白内障手術」を豚眼を用いて実際に行うという研修を、医療機器およびコンタクトレンズ製造・販売する日本アルコン株式会社様の協力のもと実施いたしました。

この研修によって執刀医の気持ちを実感することができ、自分たちが手術をどうサポートしていけばよいか、ということを改めて深く考える良い機会となりました。海仁グループでは昨年10月にも実施し、今回が2回目の研修です。

この様な研修を定期的に実施し、全職員のレベルアップを図り、さらなる医療の質・安全性の向上を目指して参ります。



海谷眼科 新任医師紹介

井上 友輔 (いのうえ ゆうすけ)

平成31年1月4日より診察を開始させていただきました。

出身地／東京都

所属学会／日本眼科学会

趣味／運動

ひとこと／初めてまして。前任地は筑波大学附属病院です。

患者様のお役に立てるよう努力して参ります。



発行元 医療法人社団 海仁 <http://www.kaiya-eyes.com> 海谷



海谷眼科 〒430-0903 静岡県浜松市中区助信町 20-40 TEL.053-476-3388
かけ川海谷眼科 〒436-0051 静岡県掛川市中宿 27 TEL.0537-23-1660
みどり台海谷眼科 〒433-8125 静岡県浜松市中区和合町 154-36 TEL.053-476-8814